

宇井徹雄

大阪工業大学名誉教授

元・技術マネジメント学科（経営工学科）教授



2008年3月末の定年退職後、3年間は客員教授、その後1年は非常勤講師として母校の授業を担当していましたが、この春には授業担当が全て終了しました。

私は、経営工学科の第一期生として入学して、卒業後大学に残りましたので、同窓会の立ち上げとその後の運営にも関わってきました。そんな関係で校友会活動にも長い間関わってきました。定年退職後、時間ができましたので、他大学の校友会についていろいろ調べてみますと、伝統があり評価の高い大学は、校友会活動も活発であり、しっかりした校友会組織を持っていることが見えてきました。そういった点ではまだまだ見做すべき部分が多々あると思っています。大阪工業大学の卒業生は約9万5千人になり、社長として、あるいは役員として活躍されている方も多くおられます。そういった人達も含めて、多くの卒業生の力を結集して母校の発展に貢献するのも、校友会の重要な使命であると思っています。

定年退職時に、MTCA（経営技術コンサルタント協会）に入会させていただき、経営コンサルタントの人達ともつき合っています。ここでは副理事長として研修委員長を担当して、毎月の総合研修会の企画・運営の責任者を務めています。

定年退職時に先生方からいただいた餞別で、高級デジタル一眼レフカメラを購入し、写真を始めました。指導者や仲間にも恵まれ、これまでに写真コンテストにも何回か入賞しました（地方レベルのローカルなコンテストですが）。

MTCAでは毎年、海外研修旅行も実施しています。これまで、北欧、台湾、ベルギー・ドイツ・スイスへの研修旅行に参加し、写真もたくさん撮ってきました。最後に、その中から、スペースの関係もありますので、厳選1枚の写真（雄大なスイスの山）を掲載します。（2012年7月 記）

